

年表 黎明期(1915年～1951年)

	協会・塩ビ工業	塩ビ製品・プラスチック・化学工業	海外展開・海外情勢	行政・自治体・法律	政治・経済・社会
1915年		三共、ベークライト(フェノール樹脂)を国産化			
1931～1933年			米,UCC社(溶液法),グッドリッチ社(懸濁法),モンサント社(懸濁法)が生産を開始		
1937年	日本窒素肥料、古河理化学研究所それぞれポリ塩化ビニル(以下塩ビ)の研究に着手 古河電気工業、塩ビの電線被覆用配合・加工研究に着手	日本合成化学、酢酸ビニールの製造を開始 無水フタル酸の国産化開始	ドイツでイゲリット紹介さる		5月 パリ万国博覧会 12月 日本軍が南京占領
1938年	東洋製缶、清酒の内面塗料にUCC社の塩ビを検討、日本窒素肥料に生産を依頼				5月 国家総動員法施行
1939年	ドイツの塩ビ(イゲリット)日本に紹介さる				9月 第2次世界大戦始まる
1940年	日本窒素、塩ビ工業化試験を本格化  大手電線メーカー、塩ビ被覆電線の研究に着手	軍需用途にメラミン樹脂、尿素樹脂、NBR、クロロプレンゴムが実用化 ケーブル用コンパウンド、塩ビ被覆電線、塩ビレザー日本に紹介さる	米国で、ナイロン stockings 発売	政府、有機合成事業法を制定	9月 日独伊三国同盟調印 10月 大政翼賛会設立
1941年	大日本セルロイド、三菱化成工業、三井化学工業が基礎研究を進める 日本窒素肥料、アセチレン合成法モノマーから塩ビを工業化、商品名ニポリット(乳化重合法)(1.5k/月) 横浜護謨製造、塩ビを工業化(5k/月)	軍用に合羽用塗料、電線被覆乾電池セパレーターなどが使用される			8月 米国が侵略国への石油輸出全面禁止 12月 太平洋戦争始まる
1942年					1月 日独伊軍事協定調印 6月 ミッドウェー海戦で日本海軍大敗
1943年					9月 イタリアが無条件降伏
1944年		塩ビ繊維16.4トン消化される			6月 連合軍、ノルマンディー上陸 8月 学童集団疎開始まる
1945年	敗戦とともに塩ビ生産全く停止				2月 ヤルタ会談 8月 広島、長崎に原子爆弾投下される 9月 ミズーリ号艦上で降伏文書に調印
1946年	11月 横浜護謨製造、塩ビの試験生産を再開(翌47年中止) 東京芝浦電気、塩ビの試験生産を開始	3月 化学工業連盟が発足 5月 GHQ、化学肥料の緊急増産を指示		11月 日本国憲法公布	1月 昭和天皇が人間宣言 2月 公職追放令施行 9月 GHQが3大財閥に解散命令
1947年		3月 日本窒素肥料、積水化学工業に出 4月 川口ゴム工業、長浜ゴム工業、塩ビフィルムの生産を開始		4月 労働基準法、独占禁止法、地方自治法 7月 公正取引委員会設置	3月 教育基本法、学校教育法公布
1948年	7月 横浜護謨製造、塩ビの生産を再び中止 三洋貿易、米・ミュールスタインから塩ビスクラップを輸入 「ビニル樹脂工業懇話会」が発足	4月 「日本化学工業協会」が発足 5月 「日本ソーダ工業会」、「化成工業会」が発足 大和護謨、藤倉ゴム、高砂ゴム、塩ビフィルムの生産を開始			1月 帝銀事件発生、ガンジー暗殺 6月 昭和電工疑獄事件発生 8月 初のプロ野球ナイター開催
1949年	三井化学(4月)、鐵興社(7月)、三菱化成工業(7月)、鐘淵紡績(7月)の4社が試験生産を開始 4月 日本軽金属、電気化学工業などの10社、東京工業試験所で塩化ビニル樹脂の試験研究を開始 北海電化工業(10月)、日本窒素肥料(11月)、大日本セルロイド(11月)、東亜合成化学(12月)、石原産業(12月)の5社が工業化	11月 大日本セルロイド、協和産業、PEP、DBPの生産を開始 日本レザー、塩ビレザーの生産を開始 花王油脂、第一工業薬品、DOPを工業化		4月 商工省、合成樹脂5ヶ年計画を発表	3月 ドッジ・ライン公表 4月 1ドル=360円の単一為替レートを実施 6月 日本国有鉄道、日本専売公社発足 7月 下山事件、三鷹事件 8月 松川事件。北太平洋条約機構発足 10月 中華人民共和国成立 11月 湯川秀樹、ノーベル物理学賞を受賞
1950年	三井化学(1月)、鐘淵化学(2月)、日本カーバイド工業(12月)、鐵興社(12月)が工業化 4月 日本ゼオン設立(古河系3社とグッドリッチの合弁、横浜護謨製造、日本軽金属、古河電気工業) 9月 昭和電工(7月)、呉羽化学が試験生産開始(7月) 塩ビ業界18社、「日本ゼオン設立反対陳情書」を通産省に提出(加工業会は賛成)	塩ビフィルムレザー、雑貨用の需要が急速に高まる 電線用押出機、カレンダーロールが輸入される 7月 「プラスチック協会」発足 9月 日本レザー、カレンダー法で塩ビレザーの生産を開始 日本曹達、わが国初の石油化学計画を通産省に提出		4月 通産省、米にプラスチック工業視察団を派遣	1月 年齢を満で数える法律施行 初の1000円札発行 4月 公職選挙法公布 山本富士子、第1回ミス日本に 6月 朝鮮戦争始まる 8月 警察予備隊設置 10月 文部省、国旗掲揚と君が代斉唱を通達

年表 黎明期(1915年～1951年)

協会・塩ビ工業		塩ビ製品・プラスチック・化学工業	海外展開・海外情勢	行政・自治体・法律	政治・経済・社会
1951年	電気化学工業(2月)、日本化成工業(5月)が工業化	1月 日本化成工業、名古屋で塩ビレザー、押し出し製品の生産を開始 日本化成工業が四日市で、三井化学工業が名古屋で、水銀法電解ソーダの生産を開始		6月 「高圧ガス取締法」公布 通産省、「石油系合成化学工業について」を発表	1月 NHKが第1回紅白歌合戦を放送 3月 日本初の天然色映画「カルメン故郷に帰る」公開 4月 第1回アジア競技会、ニューデリーで開催 6月 日本、ユネスコ、ILOに加盟 7月 プロ野球初のオールスター戦開催 9月 対日講和条約、日米安全保障条約調印 「羅生門」がベニス国際映画祭でグランプリ 10月 力道山が日本初のプロレス試合
	1月 日本ゼオン、米・グッドリッチ・ケミカルから懸濁重合法塩ビ製造技術を導入	3月 積水化学工業、硬質塩ビ管の開発に成功			
	7月 日本化成工業、米モンサントから懸濁重合法技術を導入	4月 三井化学工業、名古屋で塩ビ、塩ビフィルム各150t/Mの本格生産を開始			
		6月 積水化学工業、大阪でDBP、DOPの生産を開始			
		9月 「日本ビニル工業会」発足 東亜合成化学工業、硬質塩ビ管の生産を開始			
		10月 日本化成工業、農ビフィルムの生産を開始			